

3月定例会開会の日、石川市長が冒頭にのべた市政現況報告のあらましです。

＜新幹線の誘致＞

地域最大の重要課題として強力な運動を進めております盛岡以北、札幌に至る東北新幹線秋田、津軽ルート誘致促進の件は、幸い国の47年度予算案に調査費が計上せられておりますので、運輸大臣より鉄道建設審議会に基本計画および整備計画や必要事項等につき諮問せられ、審議会より答申を得て進められると言う方法で、47年度中には必ず決定せられるものと観測されます。

このため、八戸市を中心とする太平洋岸回りを主張する競願団体との間に大きな運動が展開せられ、私たち内陸部に居住するものにとって地域の格差を除去する最大の機会をしっかりと握し、悔いを残さないよう、なお一層の努力を傾注したいと存じております。

＜基本構想＞

つぎに、わが大館市の基本的構想に関する件ですが、この問題は地方自治法の改正にもとずき、地方自治体は、その基本的構想を打ち立てて計画的に行政を推進するために、新全国総合開発計画や、県の第3次総合開発計画との関連におい

市政現況報告



市長 石川芳男

て行政計画の方向づけを策定するものでありますが、これには2月に、議会代表、公共的団体の代表、学識経験者の方々をもって構成されました協議会においてご承認を得ました件につき、議会の議決をいただくための議案を提出しております

＜広域行政圏の推進＞

また、大館周辺広域行政圏設置に関する件につきましては、関係団体であります大館、比内、田代の1市2町のあいだにおいて、7月発足をめどに準備が着々と進められ、去る3月7日、市役所において関係者全員出席のうえ、事務局設置や予算議決など、所要の準備を進めております。

＜松峰部落の集団移転＞

鉱業開発にともない地盤沈下という現象が発生いたしました釈迦内地区松峰部落の方々の集団移転問題は、部落のみならずと同和鉱業花岡鉱業所のあいだに、原則的に話し合いがつき、早ければ今秋中にも移転することになるだろうとの報告を、去る3月7日、部落代表者である畠山委員長らと、花岡鉱業所代表、蕪谷総務部長ほかの両関係者が出席し、経緯のご説明がありましたので、ご報告を申し上げますとともに、関係者の皆さんに深く敬意を表する次第であります。

生活と健康を守るために

消費生活の安定をはかるため、昨年8月にオープンした公営卸売市場は、私たちの生活面に大きな効果をもたらしていますが、新年度には「消費者モニター」制度を実施し、商品の実態を握しつつ、消費生活面の安定に努力します。

懸案の「食肉センター」は、2カ年計画で建設することを決定、「衛生的な食肉をご家庭に……」をスローガンに、センターの完成を急ぎます。

市民の健康保持と適宜な運動に役立てようと、昨年着工していた「市民の森」(比内前田)は、新年度でほぼ完成の予定で、緑と澄みきった空気の中で、市民が遊び、語り合える日も間近にせまっています。

一方、「市立総合病院」では、ベット数を630床から481床に減じたものの、減じたベットは結核、精神病床などで、一般病床は逆に35床を増数し、経営の改善をはかりながら、市民に親しまれる病院づくりに励みます。

その他、予防接種、成人病対策への取り組みにも力を注ぎ、病気の早期発見など、健康管理にも努めます。

環境をよくするために

生活環境すなわち、道路、公園の整備は急務を要するものとの考えから、このような事業は新年度においても重点方針として取り組みました。

まず、「道路関係」では、市道11線の舗装をはじめ只越線など11線の改良などに約8,700万円を投じます。「橋」では、曲田橋を今年度で完成させるほか、大滝橋の拡幅、池内橋の架け替えを行います。

「公園の新設」は御成町児童公園と中道児童公園の二つを計画したほか、継続事業である、長根山運動公園と墓地公園も、いよいよ本格的に進められます。また、住宅地の解消のため、今年は「市営住宅」12戸を建設します。

さらに、観光事業として「長根山周辺に桜の木、1万本」を植え、桜の名所「長根山」の名を高めさせ、大文字焼きとともに、県内外の観光客誘致に、長期的展望をうたてました。

一方、都市化が進むにつれ大きな問題になっている「ごみの処理」については、全地域にわたる収集を43年度から2業者に委託しており、今年度には委託費として2,786万円を計上、ごみ収集には万全を期すことにしています。

さらに、よい環境をつくるため、各家庭に配布している、カ、ハエ、ネズミの駆除薬に260万円を計上、今年も継続して行なう「下水道事業」とともに、環境衛生の向上に努めます。

安全を守るために

市民を公害、交通事故そして火災から守るための安全対策にも、意欲的に取り組みます。

「公害対策」については、従前どおり川の水質検査、騒音測定を行なうほか、新年度にはパトロールカーを購入し、常時公害発生源に対するパトロールを強化することにしました。

また、「交通安全対策」としては、いままで、安全協会に所属していた「交通指導隊」を、新年度から市に吸収して、交通指導を強化することにしました。

その他、安全対策として、カーブミラーを20カ所にガードレール5カ所、安全塔2カ所を設置し、交通安全対策に積極的に取り組みます。

成章小学校の合津冬期分校が廃校になり、4月1日から成章小学校に編入されます。

新年度の予算などを決める3月定例会は、3月11日から今度の定例会には、46年度の各会計補正予算案、新年度の各65件の議案が提出されましたが、いずれも、原案どおり可決して、新年度では、快適な市民生活をめざす事業として、ど

一方「火災」から市民の財産と生命を守るため、火災予防に力点を置きながら、ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ3台を購入するほか、防火貯水そう3カ所、打込鉄管消火栓4カ所、ホース塔2カ所を設置します。

教育の向上のために

幼稚園から成人教育に至るまでの新年度の教育費は、一般会計総額の19.8% (5億5,300万円) を占めています。

「学校の新築」は、桂城小学校の第2期工事と、東中学校の第3期工事、体育館の建設の2校で、プールは桂城小学校に建設されます。

また、新年度に特筆しなければならない一つとして、4月から桂城小学校に「言語障害学級」が開講されます。対象は市内の小、中学生の言語障害児童で、週1~2回この学級に通学して、言語障害の矯正教育を受けることになっており、この画期的な学級の設置に大きな期待が寄せられています。

「社会教育面」では、総額5,176万円を計上、下川沿、二井田公民館の増築、図書館の図書増額のほか、中央公民館を中心とする社会教育活動、文化財の保護「市営球場の整備」など、社会教育の振興に努めま

福祉向上のために

ゆりかごから墓場まで、福祉行政の範囲は非常に広い、新年度は、めぐまれない家庭の救済と老人対策に重点を置いています。

「生活保護費」に2億9,800万円を計上したほか身体障害者、精薄者などの援護にも努めます。

「老人対策」については、新年度から満85歳以上の方々に「敬老祝金」(年額3,000円)を支給することにしましたし、「老人ホーム」の収容人員を50人から80人にするため、増築工事を行なうことにしました。その他、老人医療費の支給、老人白内障へ扶助、など2,295万円を計上老人対策には前向きな姿勢で取り組みました。

また「児童福祉」面では、6カ所の市立保育園の充実をはかりながら、郊外の児童遊園地2カ所に遊具をそなえつけることや、児童館1カ所(合計5カ所になる)の新設を予定しています。

産業発展のために

減反等大きな問題をかかっている「農業問題」に対処する必要から、集団転作、共同転作の促進とはかりながら、大規模共同育苗施設、ホップ栽培事業の助成にも努めます。また、真中地区の「第2次農業構造改善事業」に9,622万円を投じるとともに、山村振興事業として、大明神地区のほ場整備事業を実施します。

さらに「農道整備事業」として、二井田地区の才川に橋と取付道路を新設するため、1,990万円を計上しました。

一方「商工業」の育成をはかるため、中小企業育成資金として、3,800万円を預託し、商工業者の振興をはかることにしました。

新年度事業

敬老祝金

85歳以上の方々に、年額にして3,000円の祝金が支給されます。支給は9月15日です。

葬祭費

国保に加入している方が死亡した場合1万円の給付があります

0歳の医療費

国保に加入している、0歳児(1歳未満)の医療費は無料になります。

合津冬期分校

成章小学校の合津冬期分校が廃校になり、4月1日から成章小学校に編入されます。

交通指導隊

市が委嘱する交通指導隊が充足し、市民の交通安全思想の普及に一役をあたします。

消費者モニター

消費者側にとって、商品の動向を把握するため、4月から消費者モニター制度が発足します。

住居表示

2丁目大火で焼失した地域の住居表示を、新区画に従って、区域等を変更し、新しい住居表示になります。

4月から実

新年度事業と国保税の改正